

# ほほえみ通信

vol.55  
冬春号

西宮協立デイケアセンター ほほえみ  
西宮市津門呉羽町10-13  
tel.0798-36-6780 fax.0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ  
西宮市津門呉羽町9-10 1F  
tel.0798-33-3501 fax.0798-33-3502

2022年2月22日発行

## 避難訓練 実施しました



近年、災害に関する意識が高まっています。当事業所で毎年実施している避難訓練では、アクションカードを用いて、地震後の津波を想定した動きも確認しています。災害時には限られた人数と資源で、できるだけ効率よく行動することが必要です。災害といっても地震、火災、津波などさまざまで、送迎中やリハビリ中など、いろいろな場面が想定されます。いつ、どんな災害が起きても焦らず対応ができるよう、ほほえみ・第2ほほえみでは、これからも繰り返し訓練を行っていきます。



### アクションカード

緊急事態発生時の判断を導き  
行動を促すための指示書

## 防災豆知識



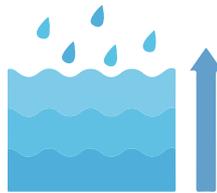
### 西宮市防災マップ



西宮市では各家庭に1部、『西宮市防災マップ』が配布されています。必ず目を通しておきましょう。



### 西宮市で想定される南海トラフによる津波



- 南海トラフはマグニチュード9.1
- 最大で震度6弱の揺れ
- 最高津波推移3.7m(海拔から)
- 地震発生から112分後に1m水位が上昇



### 津波警報が出た...どこに避難したらいい?

ほほえみの利用中や送迎中に津波が発生したら、近くにある津波避難ビルへ避難します。お住まいや通っておられる場所(病院やデイケアなど)の近くで、津波避難ビルがどこにあるか、日ごろから見ておきましょう。例えば、西宮協立脳神経外科病院の南館(救急車が止まる建物)は津波避難ビルに指定されています。また、ほほえみの近くには「海拔2.0m」という表示があり、こうした表示も参考になります。



覚えておこう!

#### 水平避難

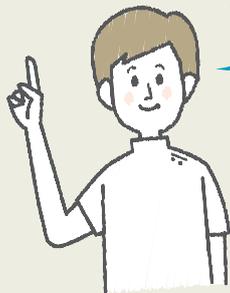
避難目標ラインは「鳴尾御影線(ほほえみの北側の通り)」です。

#### 垂直避難

津波避難ビルなどの3階以上へ避難する。

#### 自宅待機

鉄筋コンクリート造などの3階以上にいる場合は、その場にとどまる。



# 『病識の欠如』について



**高次脳機能障害**とは、脳卒中などの原因で脳が部分的に損傷し、言語、思考、記憶、行為、学習、注意などの機能に障害が起こった状態のことです。高次脳機能障害にはさまざまな種類と症状があり、対応方法も異なります。今回は、高次脳機能障害の1つ“**病識の欠如**”についてご紹介します。

## 病識の欠如のサインを見逃さない！

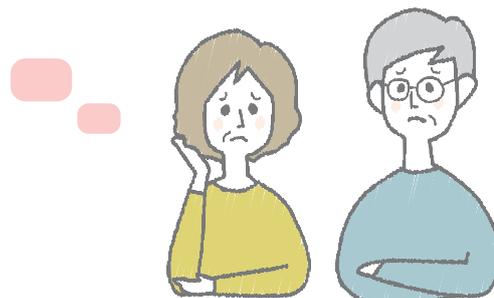
病気をする前と比べて……

「自分が障害をおったことを認識できない」

「仕事や車の運転を  
以前と同じようにしようとする」

「自分は元気だと勘違いしている」

Why?



➤ このような症状は「**病識の欠如**」のサインです。  
病気以前と同じような行動がむずかしくなります。



言語聴覚士 | 田山

自分の症状を認識しづらいのは、「ご本人の気持ちの問題」ではありません。高次脳機能障害のひとつであると考えられます。これは脳の損傷や認知症の進行によって出現する症状です。ご本人に自分の症状の認識がないと、家族の負担が大きくなります。また、リハビリを拒否してしまい、症状の改善も望めなくなることさえあります。

## 家族や信頼のある第三者のサポートが大切です！



障害をおってしまった当人も自覚がないうちから症状を指摘されると、「自分が否定されているのではないか」といった気になり、ストレスを感じてしまいます。ご家族のサポートとしては、根気強くご本人のよいところをほめていくようにしてください。ご本人に自信が生まれ、できないことへの気づきにつながる可能性があります。また、症状に対する否定ばかりするのではなく、信頼できる第三者から助言をもらうことも大切です。